



# 御神船

「御神船」とは、伊達藩の時代、物資流通や大漁祈願の海渡りに活躍した船が称賛されて「御神船」と呼ばれるようになりました。

2026  
(令和8年)

5月  
号外

不許複製：禁無断転載・引用

仙台水産ホームページ [www.sendaisuisan.co.jp](http://www.sendaisuisan.co.jp)

仙水グループ広報

## さらなる飛躍、発展を期す！ 仙台水産社長に伊藤真専務



伊藤 真 新社長

仙台水産は4月27日の取締役会で、新社長に伊藤真専務が昇格する役員人事を決定し、5月1日発表しました。就任時期は5月26日開催予定の第72期定時株主総会終了後となります。本田誠社長は代表権のある会長、石森克文副社長は副会長にそれぞれ就任します。

この度の取締役会で、5月26日の株主総会後に代表取締役社長に就任することになりました伊藤真です。

私はこれまでに多くのお客様様にお会いしてご指導ご協力をいただき、現在は微力ながら営業の責任者として今日に至っております。我が水産業界は、漁獲の減少や魚種交代、消費の低迷、生産・加工コストの高騰が中長期的に続く可能性があり、この中で活路をみい出す施策を講じなければなりません。

社長就任にあたり一番大切にしたいことは、常にすべての方々に喜んでいただく心を持って仕事をすること、と考えています。当社は、多くのお客様（販売・仕入先、物流関係等）によって支えられて

おります。皆様にも少しでも役に立つ提案と努力をすることで、結果当社も業績を上げていくという考え方です。引き続き営業本部長という立場ですので、役員とともさらに営業活動を強化し、会社の取り組みをなお一層強固なものにしてまいります。

これまで歴代の経営者の方々が「豊かな食を創造し地域社会に貢献する」という経営理念を基本としてグループの隆盛に尽力され、今日があるということに尊敬の念を抱くとともに、深く感謝しております。さらなる発展のため、今後とも本田会長、石森副会長には、大所高所よりご指導を賜りたくお願い申し上げます。

最後にさらに風通しの良い明るい風土で、希望に満ちた誇りを持てる会社を皆様と作り上げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

### 代表取締役社長略歴

三重大学水産学部卒業。昭和62年4月・仙台水産入社。平成15年3月・冷凍塩干部部長、同21年3月・執行役員、同29年5月・取締役、令和2年4月・常務取締役、同4年4月・専務取締役、同8年5月・代表取締役社長就任予定。62歳。山形県新庄市出身。

### 人事異動

仙台水産（4月1日付）

令和8年3月の取締役会にて左記のとおり選任されたのでお知らせします。

#### 役付取締役人事

▽常務取締役 管理本副本部長 三浦孝一郎 ▽常務取締役 営業本副本部長 冷凍部部長 三浦伸一朗 ▽取締役 営業本副本部長 鮮魚統括 鈴木潤一

#### 執行役員人事

上席執行役員 菅原正隆  
上席執行役員 青木輔  
上席執行役員 赤沼寛康